

2021年度に実施したOff-campus Study Program

※実施形態：「オンライン」については学生自体はキャンパスで受講しつつオンラインを活用して学外と連携したプログラムを含みます。

※参加学生数：年度をまたがる長期プログラムについては、当該年度にプログラムを開始した人数のみを掲載しております。

※実施期間：海外渡航型の場合は海外渡航期間、オンライン型の場合はオンラインを活用した実習期間を記載しております。それぞれ基本的に前後に事前授業、事後授業を実施することで実習の準備や実習で学んだ知識、スキルの振り返りを行い、プログラムを通じた学びを深めています。

	プログラム名	実施形態	参加学生数	派遣国/地域/連携先	実施期間	実施概要	学修成果の概要	成績
1	FIRST(海外)	オンライン	206	グループ毎に設定	2021年5月31日(月)~6月2日(水)	1回生がクォーター間の休暇を利用して国内外に赴き、そこで初めて出会う人々との交流や調査活動を通して、アジアの文化・社会に直接触れることが出来る短期集中プログラム。	グループ毎に設定した国・地域を対象としたアンケート調査などのリサーチ活動をオンラインにて行い、初歩的な調査法、グループ学修での学び方、異文化に対する感受性を養った。	2単位 (P/F)
2	FIRST(国内)	オンライン	17	グループ毎に設定	2022年2月7日(月)~2月9日(水)			2単位 (P/F)
3	APU GLAD	オンライン	243	College of Staten Island, City University of New York (アメリカ)、President University (インドネシア)、Hong Kong Metropolitan University (中国)、Lingnan University (中国)	実習無し ※春semester第2クォーターに全14回授業を実施	PBL (プロジェクト・ベースド・ラーニング) の手法を用い、SDGsの達成に寄与するプロジェクトを多文化の仲間たちとグループワークで考えるプログラム。	ゲストスピーカーを含めた講義やPBL形式のグループワークを通して、世界市民として世界の問題を理解し、さらに解決策を探究する能力を養った。	2単位 (A+,A,B,C/F)
4	BOOST	オンライン	40		実習無し ※2021年5月~8月にかけて全56回授業を実施	IELTS対策の学習を軸にしながら、国際学生との交流学習も取り入れて、英語力を成長させ、必修英語コースの早期修了のチャンスも得られるプログラム。	英語能力の向上および一定基準以上のIELTSスコアの獲得を目指しつつ、国際学生との交流も通じて実践的な英会話を向上させた。	計4単位 (A+,A,B,C/F)
5			29		実習無し ※2021年10月~2022年2月にかけて全56回授業を実施			
6	AP言語イマージョン(中国語)	オンライン	19	東北財経大学 (中国)	2021年8月16日(月)~9月3日(金)	海外の大学や大学附属の語学学校などで、夏期・冬期休暇を利用して集中的に言語運用能力の向上を目指す。	集中的な言語研修を通して各言語能力を向上させるとともに、協定先大学の教員や学生との交流を通して異文化への理解を深めた。	2単位 (A+,A,B,C/F)
7	AP言語イマージョン(韓国語)	オンライン	7	高麗大学 (韓国)	2022年2月14日(月)~3月14日(月)			
8	AP言語イマージョン(スペイン語)	オンライン	10	National Autonomous University of Mexico (メキシコ)	2022年2月14日(月)~3月11日(金)			
9	AP言語イマージョン(ベトナム語)	オンライン	6	Ton Duc Thang University (ベトナム)	2021年8月9日(月)~9月3日(金)			
10	GCP	オンライン	24	St. Edward's University (アメリカ)	実習無し ※春semesterに全36回授業を実施	春semester4か月間、アメリカのSt. Edward's University (SEU) へオンライン留学し、全米でも定評のあるリベラルアーツ (教養教育) 科目を履修する。	学生は英語でのコミュニケーション力・多文化理解力の形成・強化を行うことができた。またプログラムの前後にPearson社のBench Mark Testを実施することで英語力の伸びを測った。伸び幅は学生により差があるものの、全学生を平均すると4技能の中ではSpeakingの伸び幅が最も大きく、本プログラムで特にSpeakingを重点的に鍛えた成果が出たことが伺える。	計4単位 (A+,A,B,C/F)
11	SEND	オンライン	24	Hanoi University of Industry (ベトナム)	2021年12月から2022年3月にかけて全14回の授業を実施し、授業内で連携先大学とも協働学修を実施	日本語を母語とする学生が海外の教育機関において日本語教育支援や日本文化紹介等を行うことを通じて派遣国・地域の教育や国際化に寄与し、日本と派遣国との架け橋となるような人材育成を目指す教育インターンシップ。	ベトナムの大学生とのディスカッションを通じ、異文化理解を深め、日本語学習者のために何が出来るかを考え、それらを提供することにより、グローバルな関係を構築し、自分自身の目標達成と成長につなげた。	2単位 (A+,A,B,C/F)
12	異文化学習オンライン授業開発プログラム	オンライン	33		2021年8/6(金)~8/10(火)	APUに入学予定の国際学生に対して、日本文化・社会の導入の事前学習プログラムの開発・運営を行う。	APUへの入学予定者のための事前学習プログラムを企画・運営することによって、世界の日本語学習者の学びを促進し、自身の異文化理解を深め、日本と他国の架け橋となる人材の素養を養った。	2単位 (A+,A,B,C/F)
13	フィールド・スタディ (APS/障害と社会)	国内派遣	14	日本、大分県	2021年8月2日(月)~8月5日(木)	教員の指導のもとで、各学部の専門分野に関するテーマに基づき、現場で調査・研究活動を行い、自らの興味・関心を深め、専門的な理論と実践の架け橋となるプログラム。	アジア太平洋学の枠組みにおいて、ある事象について包括的に学修し、専門性、誠実さ、共感をもって国際社会で活躍できる人材を育てることを目的とし、異なる価値観・文化を持つ他者と適切に協働することを学び、様々な事象について観察、分析、調査、議論し、組織的な解決策を講じる能力を向上させた。	2単位 (A+,A,B,C/F)
14	フィールド・スタディ (APS/持続可能な地域の価値づくり)	オンライン	9	日本、長野県	2021年8月10日(火) 2021年9月7日(火)~9月8日(水)			
15	プロジェクト研究	オンライン	12	日本、新潟県	2021年9月6日(月)~9月13日(月)	3回生・4回生のゼミ履修生を対象に実施するゼミ連携型プログラムであり、セッション及び長期休暇期間中に、学外での実習を中心としたゼミ学習を継続して行う。	担当教員のゼミを履修する学生を対象に実施し、ゼミの授業に加え、プロジェクト研究に参加することで、自身の研究課題に対してより深い専門知識を修得し、その後の卒業論文の執筆へと繋げた。	4単位 (A+,A,B,C/F)
16	AGR	オンライン	15	スウェーデン	2021年9月5日(日)~9月11日(土)	APSの各学修分野で自らに関心を有する研究テーマについて、研究調査方法を習得するとともに、オンラインを活用して調査計画に基づいた調査を実施し、その結果を調査報告書にまとめるまでのプロセスを実践的に学修する。	研究調査手法や研究調査計画書策定手法を実践的に修得し、卒業論文を含む大学での学修や、卒業後の大学院での研究や企業等での調査研究活動に活かせる能力を形成した。	2単位 (A+,A,B,C/F)
17		オンライン	15	Seoul National University (韓国)	2021年9月5日(日)~9月11日(土)			
18		オンライン	15	Tamkang University (台湾)	2021年9月5日(日)~9月11日(土)			
19	ダブルディグリープログラム	オンライン	3	Kyung Hee University (韓国)	渡航期間 約2年間	海外協定大学とAPUで2年間ずつ学び、両大学の学位を取得する共同学位プログラム	2年間という長期の海外滞在を通して、世界に通ずる多角的視野・教養・思考力を身に付ける。	
20		(後に海外渡航)	3	Neoma Business School (フランス)				
21	国内交換留学	国内派遣	18	立命館大学 (日本)	1semester間もしくは1年間	APUと学生交換協定を締結している大学に派遣先大学へ学費を納入することなく半年または1年間留学し、主に各自の専門分野に応じた正規科目を履修する。	国内外の協定大学の正課科目を受講することでAPUにはない専門知識を深めることができた。	手続きを経て留学先での取得単位をAPUの単位として認定
22			5	国際教養大学 (日本)				
23	海外交換留学	海外渡航もしくはオンライン	28	海外協定大学のいずれか				
24	短期サマー/ウィンタープログラム	オンライン	12		約1~4週間 (派遣先大学により異なる)			